【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2009-41655(P2009-41655A)
【公開日】平成21年2月26日(2009.2.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-008
【出願番号】特願2007-206781(P2007-206781)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　1/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　1/32　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月13日(2010.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
ウエーブベアリングがロック状態になると、ウエーブベアリングは剛性カム板と一体回転する。高速回転時には、ウエーブベアリングの外輪と可撓性外歯歯車の間には十分な潤滑油膜が形成されているので、ウエーブベアリングは剛性カム板と一体にスムーズに回転することができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
図１は本実施の形態に係る波動歯車装置の縦断面図であり、図２は波動歯車装置の噛み合い状態を示す模式図である。波動歯車装置１は、剛性内歯歯車２と、この内側に配置されているカップ型の可撓性外歯歯車３と、この内側に嵌め込まれている楕円形輪郭の波動発生器４を有している。円形の可撓性外歯歯車３における外歯３ａが形成されている部分は、波動発生器４によって楕円形に撓められている。外歯３ａにおける楕円形の長軸Ｌｍａｘ方向の両端部分が、円形の剛性内歯歯車２の内歯２ａに噛み合っている。